

専念寺通信

3月号 (NO.175) <http://sennenji.s296.xrea.com/>

3月になり、ようやく春の日差しが感じられるようになりました。皆さまお変わりなくお過ごしでいらっしゃいますか。

☆春の彼岸

春のお彼岸の季節がやって参りました。お中日が3月21日、この日を挟んだ一週間がお彼岸です、お中日はカレンダーには春分の日と書かれており、昼の長さや夜の長さが同じになる日です。この日をさかいに、季節は冬から春へと移りかわっていきます。お中日、太陽は真東からのぼり、真西に沈みます。太陽の沈んでいく真西に**西方十万億土**の極楽浄土があるとされています。彼岸とは、この極楽浄土を思い描き、煩惱に満ち満ちたこちら側から、安らぎと平穩に満ちたむこう側へ往生できますようにと祈る期間と考えることができます。また**六波羅蜜**と呼ばれる6つの徳目を実行に移す、いわば修養の期間として考えることもできます。

1. **布施** (ふせ) 与えること。財施 (ものを施す)・法施 (真理を施す)・無畏施 (恐怖を取り除き安心を与える)
2. **持戒** (じかい) 戒律を守ること。
3. **忍辱** (にんにく) 苦難に堪え忍ぶこと。
4. **精進** (しょうじん) 真実の道をたゆまず実践すること。
5. **禅定** (ぜんじょう) 精神を統一し安定させること。
6. **智慧** (ちえ) 真実の智慧を得る事。

古めかしい戒律のように思えますが現代の日本の私たちの暮らしに当てはめてみましょう。1. **布施**はものでなくとも良いのです。笑顔でも、ちょっとした一言でも充分です。2. **持戒**はいわゆる法律とは別に、自分で決めた戒律としてみましょう。賭け事をしない、規則正しい生活をする、人を妬まない、恨みや嫌悪の悪い気持ちを心にためない、など今の自分に必要な要素を入れてみるのも良いでしょう。3. **忍辱**は堪えることです。怒りをコントロールする、酷い波に襲われた時には頭を低くしてそれが通り過ぎるのを待つ、それも大切です。4. **精進**は分かりやすいです。損得や見栄でなく自分が真実だと思ったことを「たゆまず」実践するのです。分かりやすいけれど実行し続けるのがやや困難かもしれません。5. **禅定**はできそうです。気持ちを整えて静かに安定させましょう。波打った心では良い判断はできません。6. **智慧**「真実の智慧」はどこにあるのでしょうか。国会図書館？遠い国？いいえ、毎日の、たとえば新聞の小さな記事に、雑誌の小さなコラムに、あなたの信頼する人の言葉のどこかに刻まれています。大きな文字や大きな声で語られることのない、小さな事実の積み重ねこそが本物の「智慧」の特徴です。☆いま、私たちの国はかつてないほどの大きな岐路にあります。終戦後70年間、軍隊を持たず、一度も他国を攻撃せずに来た日本を、国の中心にいる人たちは変えようとしています。軍事費は上がり、高齢者や弱い立場の人のための予算は減っています。福島復興予算は実は6割は使われていなかったことも判明しました。沖縄では海が破壊されています。なぜこのような方向に向かわなければならないのか、考え込まざるを得ません。写真は墓地の白梅と枝垂れ梅のつぼみです。皆さまどうぞお身体を大切になさって下さい。平成26年3月1日 大黒

